

## こんなにも異なる男女間の意識・・・なぜ!?

高槻市市民意識調査（平成27年度）の「総合的にみて男女の地位は」という設問について「平等になっている(※)」と回答した割合は、男性49.7%、女性29.4%で、その差はなんと20ポイント以上!

男女平等感の意識に、なぜこんなにも違いがあるのだろうか? どうすれば違いを乗り越えて、今よりもよい関係を築いていけるのだろうか? ぶつく★まーくスタッフはそんな疑問に向かうべく、参考となる書籍を探しました。

(※)「平等になっている」は「平等になっている」と「ある程度平等になっている」と回答した人を合計した割合です。

### ★今号はまず、「脳の仕組に関する2冊」のご紹介です★



だから、男と女はすれ違う

2009年 ダイヤモンド社  
NHKスペシャル取材班  
奥村康一/水野重理/高岡大介(著)

[100-5]



脳の取扱説明書

2016年 みらいパブリッシング  
木ノ本景子(著)

[300-8]

「どうして女はああなんだ!」「なぜ男はわからないのかしら?」。冒頭のこのフレーズに引き込まれ、頁を繰る毎に「あら、そうだったの、う〜ん、その通りかも?」と思わずつぶやいてしまった。

そもそも、男と女の違いはなぜに?・・・はるか遠い昔、原始人類がアフリカ大陸で暮らしていた時代のDNAが「綿々と受け継がれたからだ」そうだ。

遠くへ狩りに出かけ、獲物を一刻も早く<sup>すみか</sup>住処に持ち帰るために直線的に行動する男。家の近くに目印を決め、子育てをしながら木の実や穀物を収穫していた女。それぞれの成功事例の強い部分が遺伝され、今につながっているという。「女は地図が読めない」なんて言われているけれど、目印を示せば女のほうが早く目的地にたどり着けるという実験結果が、だから得られたのだろうか?

番組報道のために男と女の違いを多角度から取材して著された本書は、「知ることは互いを理解し合い、一人ひとりをより大事にする未来につながっていく」と語り続けている。また、研究に携わる人々は、これらの研究が単に「男と女」という分類だけではなく、「一人ひとりの個の探求にもつながっていく」と予感している。

❀だれもがだれをもやさしく見つめられる日々は、いつか、きっとやってくるはず❀(みっと)

脳は肉体という乗り物を乗りこなすためのドライバーのようなもの。一個の塊ではなく、それぞれの部位に固有の働きがあり、それらが精巧につながってうまく機能できるようにになっている。

目覚めているときには理性をコントロールする左脳が活発に動いて主導権を握り、右脳で感じたことは無視されているらしい。

かたや、左脳が休んでいる時は感情をコントロールする右脳が「自由に動き出している」のですって!?

人それぞれに個性があるように、脳にも色々個性があり、男性と女性では脳の作りにも違いがあるとか・・・。

第1章では「脳の概略と各部位」について、第2章では「人の資質に関して脳のどの部位が働いているのか」、第3章では「理想の自分になるための脳の鍛え方」について書かれ、さらに特別編では、人間の脳を会社にととえて、脳の仕組みをわかりやすく解説している。

「脳のこと」を知り、自分の隠れた気持ちに気づけば、自分自身が受け入れやすくなるのではないだろうか。

また、パートナーの言動を理解してその意図を受け取れれば、日々の生活が今よりもっと楽しくなるのでは?

❀本書は、あなたが「あなたの脳」をうまく使いこなすためのガイドブックになるかも❀(ルナ)